

科目名	聴覚障害児教育指導論（聴覚障害者）					単位	1.0
担当教員	小田 侯朗						
授業形態	講義	開講期間	前期	配当年次	3	授業番号	7213

●授業のテーマ

聴覚障害児教育の歴史と現状を概観し、教育課題について理解を深める。

●到達目標

聴覚障害教育の歴史の概要を理解する。

我が国の聴覚障害教育の制度や現状について概要を理解する。

コミュニケーション手段（聴覚口話・手話等）の基礎を実習を通して身につける。

言語指導法の基礎を理解する。

●学習内容（授業概要）

聴覚障害教育の黎明期（スペイン等）から世界各国への広がりについて学ぶ。

日本の聴覚障害教育の歴史について学ぶ。

日本の聴覚障害教育の制度、学習の場、発達段階に応じた指導の内容等を学ぶ。

聴覚障害者のコミュニケーション手段（口話・聴覚活用・手話・キュードスピーチ等）を学ぶ。

聴覚障害教育におけるコミュニケーションと言語指導の理論（トータルコミュニケーション、バイリンガル教育等）の基礎を学ぶ。

●学習内容（授業計画）

次の内容を90分×8コマの中で講義する。

1. 聴覚障害とは（聞こえの仕組みといくつかの視点での定義）
2. 聴覚障害教育の歴史（世界の歴史、日本の歴史）
3. 聴覚障害者の心理
4. 聴覚障害教育の現状（制度と教育の仕組み）
5. 聴覚障害児のコミュニケーション（様々な手段とその変遷）
6. 聴覚障害教育の現代的課題（手話・人工内耳・早期教育・重複教育・高等教育等）

●準備学習・事後学習の内容

準備学習：①指文字（大曾根式）を学習すること。②NHK手話ニュースを視聴しておくこと。

事後学習：①合理的配慮、②ろう文化に関する学習課題を講義終了時に指示する。

●成績評価方法・基準

出席率と受講中の発言や課題への対応等が40%、最終課題レポート60%の割合で評価する。

●テキスト（必携）

使用しない。レジユメを使用する。

●参考文献／その他

その都度紹介する。

●履修上の注意

手話コミュニケーションの実習も行いますので、可能であれば手話でのコミュニケーションを体験しておいてください。